

令和3年度 重点的に取り組む 4つの視点

【視点1】 コロナ禍から 産業の元気を取り戻す

一日も早く産業の元気を取り戻すことが、まちに活気を与え本市の社会経済の回復につながるため、経済対策に積極的に取り組みます。

- ▶中小企業の経営安定化に向けた支援
- ▶地産地消の促進
- ▶雇用促進に向けた企業立地支援など

【視点2】 市民の健康と 安全・安心な生活の確保

まちづくりの主役である市民の皆様が、安全・安心のもとで、心も体も元気に活躍することができるよう、各種施策に取り組みます。

- ▶市民の健康づくりの推進
- ▶安心して子育てできるための支援など
- ▶自然災害への対策の拡充

【視点3】 スポーツを活用した まちづくり

一人ひとりの健康維持・増進に留まらず、産業としてのポテンシャルを有するスポーツを活用したまちづくりを進めます。

- ▶フェンシングなど、スポーツを活用したにぎわいづくり
- ▶サイクリングなどによる誘客施策の推進
- ▶スポーツ人口の拡大

【視点4】 ICTの積極的な活用

様々な分野でデジタル技術の活用が進むなか、ICTを積極的に活用したまちづくりを進めます。

- ▶行政手続きや教育現場におけるICTの活用
- ▶図書館への電子書籍の導入など
- ▶「沼津版スマートシティ」の推進に向けた体制整備

令和3年度 施政方針

令和3年2月の市議会定例会で、新年度の市政運営の考えと、重点施策を盛り込んだ施政方針を発表しました。



◎政策企画課 ☎055・934・4704
※令和3年度施政方針の全文は、市ホームページをご覧ください。

今回の特集では、新年度において重点的に取り組むべき4つの視点と、主な取組について、「第5次沼津市総合計画」の8つのまちづくりの柱に沿って説明します。

ちをはじめ多様な交流を促し、まちのにぎわいや活力の創出も期待されます。

このようなまちの動きや新たな時代の流れを的確に捉え、「第5次沼津市総合計画」に定める将来都市像である「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に向けて官民一体となって様々な取組に積極的にチャレンジして参りたいと考えております。(一部抜粋)

私たちは、世界的なコロナ禍という大変厳しい状況に忍従を強いられ、不安な日々を余儀なくされています。本市においては、感染症拡大防止に対する市民の皆様のご理解ご協力、そして医療従事者の皆様による献身的な取組がなされております。市はこれまで、市民の皆様の安全と経済活動の確保を図るために様々な取組を緊急的に実施して参りました。現在、国・県においてもワクチン開発や医療体制の充実等、あらゆる知見を集めて対策が講じられておりますが、静穏で伸びやかな日常を1日でも早く取り戻せるよう、引き続き市民の皆様へ寄り添い、市民の皆様一人ひとりのご理解とご協力を頂きながら、一体となってこの難局を乗り越えて参りたいと思っております。

新年度は、今後の10年間のまちづくりの方向性を定めた「第5次沼津市総合計画」がスタートいたします。本市のまちづくりの中核をなす沼津駅周辺総合整備事業については、多くの市民の皆様からの期待に応えるべく、節目となる一歩を踏み出しました。沼津駅周辺を「ヒト中心の魅力的な空間」に再編し、本市の活力を創出する事業として、また、本市が県東部広域拠点都市としてのポテンシャルを高め、地域全体の発展を牽引していく事業として、着実な進捗を図って参ります。また、4月から開設される新たな2校の高等教育機関の進出は、若い人た

私たちは、世界的なコロナ禍という大変厳しい状況に忍従を強いられ、不安な日々を余儀なくされています。本市においては、感染症拡大防止に対する市民の皆様のご理解ご協力、そして医療従事者の皆様による献身的な取組がなされております。市はこれまで、市民の皆様の安全と経済活動の確保を図るために様々な取組を緊急的に実施して参りました。現在、国・県においてもワクチン開発や医療体制の充実等、あらゆる知見を集めて対策が講じられておりますが、静穏で伸びやかな日常を1日でも早く取り戻せるよう、引き続き市民の皆様へ寄り添い、市民の皆様一人ひとりのご理解とご協力を頂きながら、一体となってこの難局を乗り越えて参りたいと思っております。